

DVの根絶、被害者の保護と自立、再出発への願いを込めた夕陽丘基金。2024年3月には、設立20周年を迎えました。

2001(平成13)年にDV防止法(配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律)が施行され、DV防止に関する取組みが進んでいきました。

しかし、被害者の保護や自立のサポートのためには、多面的な支援が必要です。特に、重なる暴力で身の危険がある場合は、着の身着のままに逃げられて来られます。公的な支援がなされるまでには、当座のお金にも困ります。怪我の治療費と一緒に連れてきた赤ちゃん・幼児の着替えやおむつ等の費用など、持ち合わせていないこともあります。

一時保護施設でのサポートを受けることができて、生活再建に向けて仕事や住まいをみつけるためには、一層の支援が必要になります。

夕陽丘基金は、このような公的・制度・支援のはざまの部分を民間の力で補完しようと、大阪市地域女性団体協議会、社団法人大阪市母と子の共励会(現大阪市ひとり親家庭福祉連合会)、財団法人大阪市女性協会(現大阪男女いきいき財団)が中心となり、設立されました。

募金を集めて、DV被害者にすぐに必要な金額を貸付し、生活再建ができたら返金してもらうという仕組みです。

毎年30件から50件前後、金額にして30万円から60万円前後の貸し付けを行い、20年間では、643件、7,715,172円となりました。

DVで逃げてきた人の背景や家庭事情は様々ですが、今日、手元にこの2~3万円が届くという直接的な支援を643件行ってきたのです。そして、この仕組みを設立当初から支えてくださっているのが、市女性会の皆さまです。

これまでの返金額は20年間で356件、2,819,753円です。一括で返金される人もいれば、1000円ずつ銀行送金で返金される人もいます。「大変助かりました。おかげ様で返せる目途ができました。他の被害者の支援に使ってください」との言葉をいただくこともあります。こうした市民同士の助け合いの仕組みは全国でも例をみないものです。

市女性会がかつて活動の拠点としていた大阪市立婦人会館が位置していた大阪の上町台地付近が古くから「夕陽丘」と呼ばれていたことから、命名された夕陽丘基金。夕陽にちなんで一首。

『海に入る 難波の浦の 夕日こそ
西にさしける 光なりけれ』

藤原為家はこのように詠みました。西に沈む日の光をありがたひさまの光と思ったのでしょうか。

DV被害者の再出発を照らす光となるように、これからも夕陽丘基金に寄せられる市民同士の助け合いの輪をご一緒に広げていただけたらと願います。



一般財団法人大阪男女いきいき財団 理事兼事務局長
夕陽丘基金運営委員会 事務局長

沢田 薫

夕陽丘基金20周年記念事業

令和7年2月27日(木)にクレオ大阪中央にて、夕陽丘基金の20周年記念事業として「保護から自立支援へ～法改正などにまつわるエピソードトークでふりかえるDV被害者支援～」を行いました。女性会のみなさまをはじめ、多くの方にご参加いただきました。



夕陽丘基金のはじまり、活動内容と成果、これから必要とされる支援の3つをテーマにしたエピソードトークで女性支援や

DV被害者支援をめぐる世界や日本の動きと、DV被害者や困難を抱える若年女性をとりまく現状について学びました。

ジャーナリストの細見三英子さん、弁護士の億智栄さんによる軽快なトークで、世代による分断やITスキルの違いによるコミュニケーションの分断など社会の基盤が大きく変わってきている今、必要とされている支援について改めて考えるきっかけとなりました。

トークの後はチャリティオークションとバザーを行い、19,090円の寄付が集まりました。



地域で輝く女性会

令和7年(2025年)3月発行
編集・発行
大阪市地域女性団体協議会

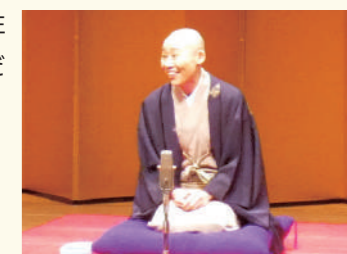
令和6年度大阪市女性大会を開催しました

令和7年1月31日に、クレオ大阪中央ホールで、令和6年度大阪市女性大会を開催しました。各単位から会員460名が参加し、第1部では大阪市長をはじめ多くの来賓のみなさまにもご臨席を賜り、お祝いの言葉や温かいメッセージをいただきました。また、大阪市地域女性団体協議会の基本精神となる大会決議を行いました。



第2部では、大阪府・大阪市万博推進局理事にお越しいただき、4月に開催が迫る「大阪・関西万博」に参加する世界各国のパビリオンや様々なコンテンツを紹介していただきました。

第3部「落語とおはなし」では、落語家・天台宗僧侶の露の団姫(つゆのまるこ)さんから、男女共同参画をテーマに落語と仏教や多様性などのおはなしをいただきました。



大阪市地域女性団体協議会は昭和24年に結成され、昨年12月に75周年の節目を迎えました。これもひとえに、関係各位の皆様方のご指導の賜物と深く感謝いたします。また、会の運営や日々の活動に取り組んでこられた歴代の役員、会員の皆様方に、この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

今年2025年は、いよいよ大阪で万博が開催される年です。市女性会では、機運醸成のため地域で広報に努めることを毎年の女性大会にて決議し、区民まつりの総踊りで「大阪元気音頭」を披露するなどの活動を続けております。前回の大阪万博では、当時の市婦協の皆さんが大いに万博を盛り上げました。今回の万博でも、市女性会として参加する一般催事で踊りを披露することとなっております。自分たちにできる形で精一杯万博を盛り上げたいと思います。

1月には、75周年記念の大阪市女性大会を開催いたしました。今回は万博推進局の方から万博についてご紹介いただいたほか、落語家の露の団姫(つゆのまるこ)さんにご出演いただき、落語と男女共同参画についての楽しいお話をうかがいました。

また、20歳を迎えた皆さんに対する啓発のため、デートDV防止のちらしを各区と連携して「成人の日記念事業」の折に配布いただきました。ちらしの作成などにあたっては、大阪男女いきいき財団、夕陽丘基金と連携をおこなっています。

DVに苦しむ女性たちを支援しようと、他の女性団体、有志の方々とともに立ち上げた「夕陽丘基金」も昨年20周年を迎えました。この基金の設立に尽力した団体として、当時も今も、地域で地道な募金活動に取り組んでおります。

今年の干支は、巳(み)です。へびは、脱皮を繰り返して成長することや、その生命力の強さから、「再生」「復活」「長寿」を象徴しています。市女性会もこの縁起のよい年にあやかり、古い殻を打ち破り、新たな活動の形を模索してまいります。

大阪市地域女性団体協議会
会長 前田 葉子



各区の活動紹介

中央区



令和6年11月30日(土)中央区地域女性団体協議会はシティプラザ大阪において、結成75周年記念式典を挙げていただきました。ご来賓と会員230名あまりが集い、この75年間にわたる活動に賞賛とこれから先に向けた更なる継続、発展に向けての意気込みに会場は熱気にあふれ感無量でありました。いつの時代においても、地域女性会は地域を盛り上げ、地域で輝く担い手として、なくてはならない存在であり、また、区行政とのパイプ役としての役目も果たしながら、今後100周年に向けて代替わりをしながら継続発展していこうと誓い合う良い式典となりました。

西区

西区女性会は14単位1,060名の会員がおります。年間を通して様々な行事や学習会に積極的に取り組みをしています。5月には、国立文楽劇場にて関西西田会会主 西田和希代さんの堀江盆唄に合わせて民踊にて共演させていただきました。沢山練習を重ね、大舞台での出演に緊張もしましたが貴重な体験をさせていただきました。これからは健康第一に新しい事へチャレンジしていけたらと思います。



港区



今年度は「ドキドキ・ワクワク好奇心。生命力豊かな人生」をテーマに神戸市兵庫区にあるくみなとやま水族館>を見学してきました。小学校跡地を利用した所で、こじんまりしていましたが、その分間近に見られる様に水槽前にイスが置いてあったり、えさやり体験やチューブの中を移動するカワソウ等、校舎を利用した施設は大変魅力ある所でした。他に食事買い物に散策と充実した1日でした。

大正区

大正区地域女性団体協議会ではコロナ収束後、女性会本来の活動としての学習会、町明運動、区民まつりでの総踊りとお茶席等のほか、各単位での地域活動へ参加協力をおこない、食事サービス、夏まつり、もちつき大会、盆踊り、防災訓練など地域に根差した活動をしています。女性会広報紙『スマイルTaisho』も今年で4年目を迎え、会員同士のつながりを深めています。女性会今年も元気です。



淀川区



今年度は、学習会を3回開催しました。①能登半島地震被災地支援派遣者からの報告会②大阪管区気象台・津波高潮ステーションの見学③反省会、この3回の学習会で、私たちにできる防災について多くの事を学びました。他にも昨年に引き続き区民まつりでバザーを行い、皆さんに喜んでいただき大盛況でした。今後も様々な学習や活動に取り組み、地域活動にも活かしていきたいと思います。

東成区

東成区地域女性団体協議会として令和6年度は「地域のつながり」をテーマに、社会福祉・防災・介護予防など体験も含め学習を進めてまいりました。閉講式では医療現場で毎日活躍されている東成区医師会会長の岩本伸一氏による事例を挙げてのお話もありました。各々の現場での貴重なお話を聞き、学んだことを先ず実践。そして周りの人たちに伝えていく事が「つながり」になると改めて感じた学習会でした。



鶴見区



鶴見区女性会は50周年を迎え、地域周年記念行事に参加し、学習活動では「男女共同参画社会基本法施行からの25年の現在」を取り上げ、経緯と現状を学びました。また、地域活動におけるリーダーとしての役割を確認し合い、地域行事やボランティア活動にも積極的に参加しています。これには、「ふれあい喫茶」「高齢者食事サービス」「味噌づくり講習会」「防火・防災」などが含まれ、地域の絆を深め、住民との協力を促進するための環境づくりにも取り組んでいます。

住之江区

住之江区女性会は昭和47年に結成され、現在2単位で活動しています。単位数が少ないですが、その分みなさんとわきあいあいと親しくさせていただいています。住之江区民まつりでは、住之江区の区花「さざんか」をモチーフにした「さざびー風船」を子どもたちと一緒に作り、たこあげ大会では、うどんの提供をし、今年度の学習会は神戸布引ハーブ園でハーブの香りを感じながら、園内散策をしました。

